

貸借対照表

令和3年8月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	29,514,031	22,830,565	6,683,466
未収金	539,400	142,450	396,950
未収収益	4,273	5,743	△ 1,470
前払金	3,510,000	3,520,000	△ 10,000
介護予防コホート研究事業支出金	14,236	31,783	△ 17,547
流動資産合計	33,581,940	26,530,541	7,051,399
2 固定資産			
(1) 基本財産			
農村医学振興基金	70,000,000	70,000,000	0
基本財産合計	70,000,000	70,000,000	0
(2) 特定資産			
学術総会助成積立特定資産	21,000,000	21,000,000	0
特別研究助成積立特定資産	10,000,000	10,000,000	0
特定資産合計	31,000,000	31,000,000	0
固定資産合計	101,000,000	101,000,000	0
資 産 合 計	134,581,940	127,530,541	7,051,399
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	500,000	2,525,076	△ 2,025,076
前受金	3,000,000	3,066,000	△ 66,000
預り金	378,061	601,549	△ 223,488
流動負債合計	3,878,061	6,192,625	△ 2,314,564
負 債 合 計	3,878,061	6,192,625	△ 2,314,564
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	130,703,879	121,337,916	9,365,963
(うち基本財産への充当額)	(70,000,000)	(70,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(31,000,000)	(31,000,000)	0
正味財産合計	130,703,879	121,337,916	9,365,963
負債及び正味財産合計	134,581,940	127,530,541	7,051,399

正味財産増減計算書

令和2年9月1日から令和3年8月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 農村医学振興基金運用収益	24,000	37,628	△ 13,628
農村医学振興基金受取利息	24,000	37,628	△ 13,628
② 特定資産運用益	5,511	2,301	3,210
特定資産受取利息	5,511	2,301	3,210
③ 受取会費	50,292,000	49,456,000	836,000
④ 事業収益	19,763,573	37,540,194	△ 17,776,621
1) 学術総会収益	12,513,708	30,711,124	△ 18,197,416
2) 委託研究収益	5,163,000	4,863,000	300,000
3) 機関誌収益	2,086,865	1,966,070	120,795
⑤ 負担金収益	0	2,000,000	△ 2,000,000
⑥ 厚生労働省委託事業収益	0	21,956,742	△ 21,956,742
⑦ 雑収益	282,747	224,335	58,412
1) 受取利息	707	555	152
2) その他雑収益	282,040	223,780	58,260
経常収益計	70,367,831	111,217,200	△ 40,849,369
(2) 経常費用			
① 事業費	38,976,354	79,206,684	△ 40,230,330
臨時雇賃金	1,606,834	137,460	1,469,374
会議費	1,448,398	7,492,402	△ 6,044,004
旅費交通費	1,237,038	4,540,145	△ 3,303,107
通信運搬費	817,109	1,115,894	△ 298,785
印刷消耗品費	1,381,789	2,187,361	△ 805,572
印刷製本費	13,757,982	13,894,274	△ 136,292
賃借料	2,776,735	5,181,310	△ 2,404,575
諸謝金	1,317,615	2,108,964	△ 791,349
租税公課	4,742	11,557	△ 6,815
委託費	13,117,493	40,588,971	△ 27,471,478
雑費	1,510,619	1,948,346	△ 437,727
② 管理費	22,025,514	24,643,482	△ 2,617,968
給料手当	14,092,789	13,777,608	315,181
会議費	1,106,837	1,332,821	△ 225,984
国際学会事務局運営経費	1,110,064	1,241,810	△ 131,746
ホームページ運営費	522,200	775,500	△ 253,300
旅費交通費	404,878	819,498	△ 414,620
通信運搬費	555,515	531,155	24,360
印刷消耗品費	262,867	496,980	△ 234,113
賃借料	1,784,680	1,815,040	△ 30,360
租税公課	542,164	2,071,023	△ 1,528,859
雑費	1,643,520	1,782,047	△ 138,527
経常費用計	61,001,868	103,850,166	△ 42,848,298
当期経常増減額	9,365,963	7,367,034	1,998,929
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	9,365,963	7,367,034	1,998,929
一般正味財産期首残高	121,337,916	113,970,882	7,367,034
一般正味財産期末残高	130,703,879	121,337,916	9,365,963
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	130,703,879	121,337,916	9,365,963

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
農村医学振興基金	70,000,000	0	0	70,000,000
小 計	70,000,000	0	0	70,000,000
特定資産				
学術総会助成積立特定資産	21,000,000	4,500,000	4,500,000	21,000,000
特別研究助成積立特定資産	10,000,000	1,000,000	1,000,000	10,000,000
小 計	31,000,000	5,500,000	5,500,000	31,000,000
合 計	101,000,000	5,500,000	5,500,000	101,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
農村医学振興基金	70,000,000	(0)	(70,000,000)	(0)
小 計	70,000,000	(0)	(70,000,000)	(0)
特定資産				
学術総会助成積立特定資産	21,000,000	(0)	(21,000,000)	(0)
特別研究助成積立特定資産	10,000,000	(0)	(10,000,000)	(0)
小 計	31,000,000	(0)	(31,000,000)	(0)
合 計	101,000,000	(0)	(101,000,000)	(0)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
い第 805 号農林債	30,000,000	30,018,000	18,000
合 計	30,000,000	30,018,000	18,000

5. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、運営にかかる費用に充てるため、農林債により資産運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

基本財産として保有する有価証券は農林債であり、発行体の信用リスク、市場リスク（金利の変動リスク、市場価格の変動リスク）にさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

金融商品の取引は、理事長の決裁に基づき行う。農林債については、発行体の信用状況や時価の状況を定期的に把握し、理事長に報告する。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、「財務諸表に対する注記」に記載しており、内容の記載を省略する。